

都市建築物における木材市場性調査報告書

実施目的：

建築・建設関係者を対象に、都市建築物における国産木材活用の市場性と、流通の課題を探る。

調査対象者：

みなとモデル制度説明会・対応製品展示会来場者
(平成24年度～26年度) 744名

有効回答数：

77件 (回収率 10.3%)
うち「建設、建築、建築デザイン関係者」は、53名

調査方法：

インターネットメールにて送付、メールおよびFAXにて返送受付

実施期間：

2015年3月19日～3月30日

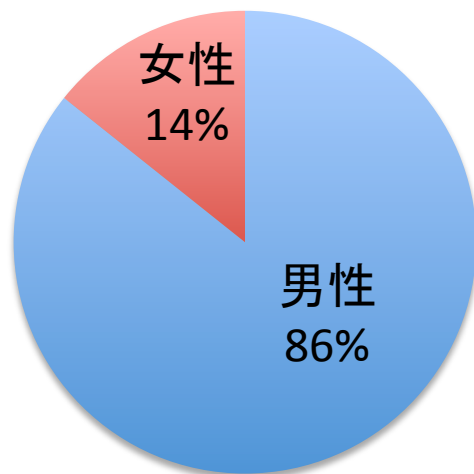
実施主体：

港区環境課 地球温暖化対策担当 みなとモデル事務局

回答協力者プロフィール

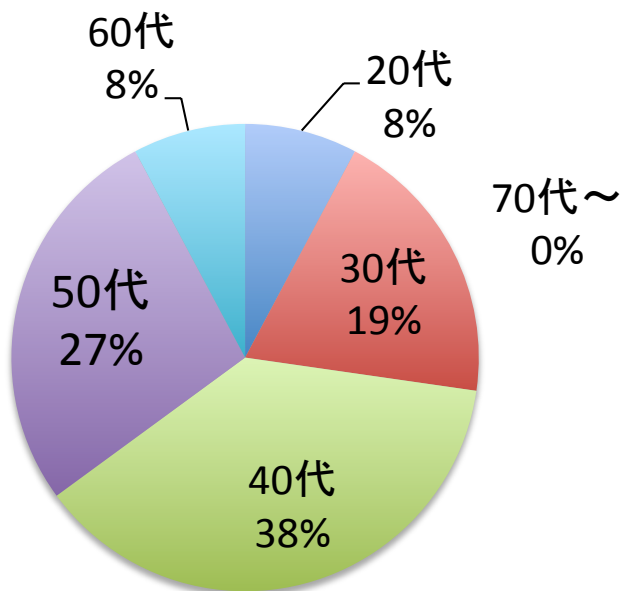
性別

男性	66	85.7%
女性	11	14.3%

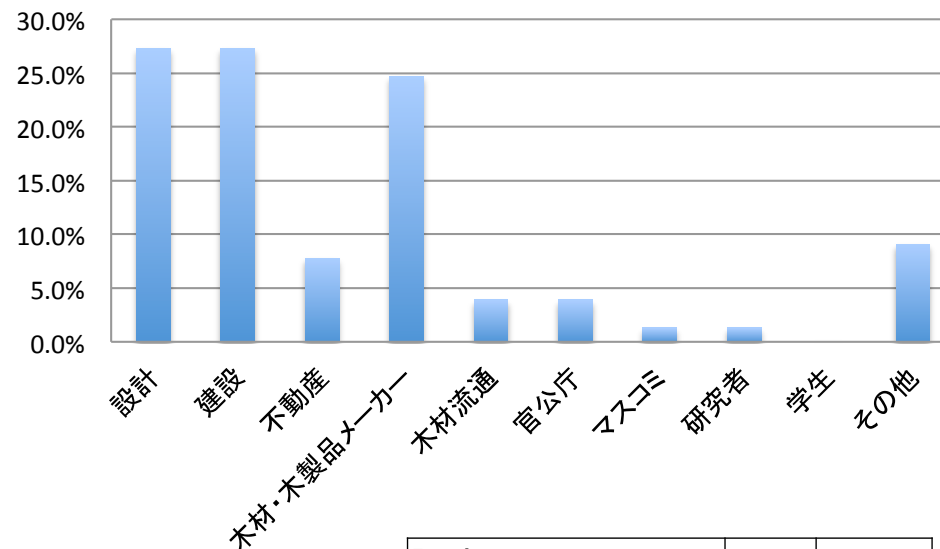


年代

20代	6	7.8%
30代	15	19.5%
40代	29	37.7%
50代	21	27.3%
60代	6	7.8%
70代~	0	0.0%
合計	77	100.0%



職業



設計	21	27.3%
建設	21	27.3%
不動産	6	7.8%
木材・木製品メーカー	19	24.7%
木材流通	3	3.9%
官公庁	3	3.9%
マスコミ	1	1.3%
研究者	1	1.3%
学生	0	0.0%
その他	7	9.1%
合計	77	100.0%

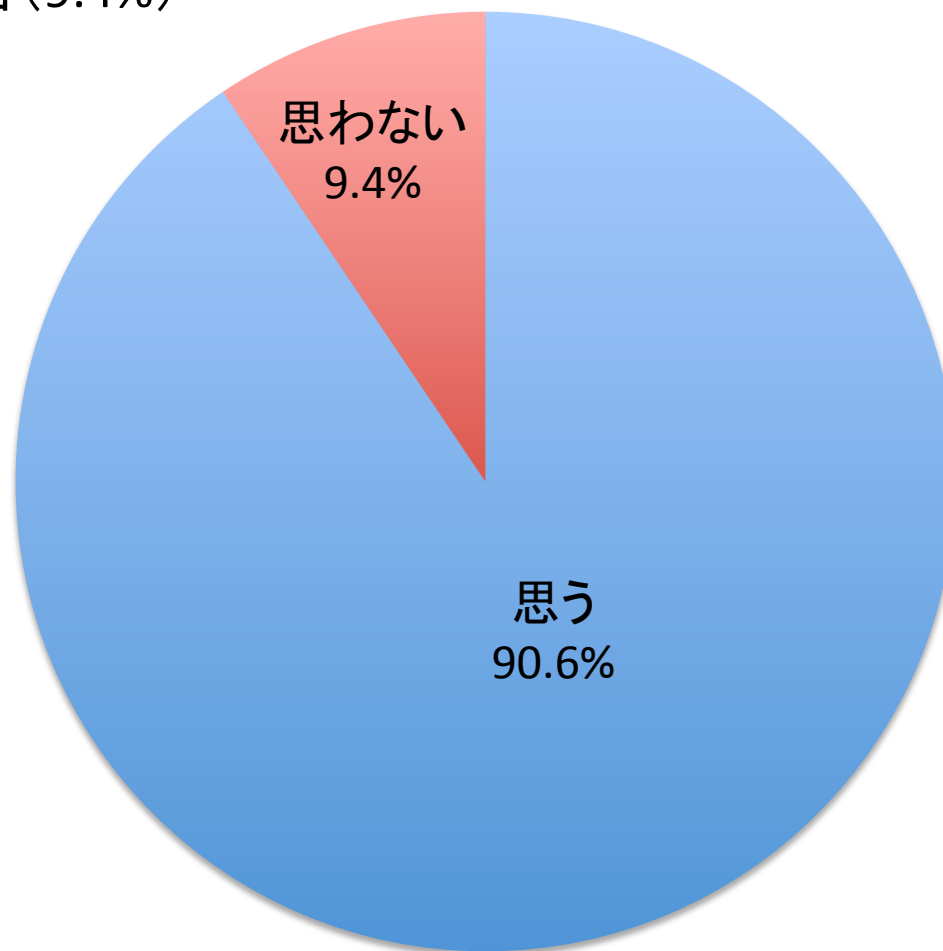
※複数回答者あり

Q1. 都市型建築を請負う場合に、建材や家具に木材を使いたいと思いますか？

※建設、建築、建築デザイン関係者53名のみに設問

1. 思う ……48名(90.6%)

2. 思わない ……5名(9.4%)

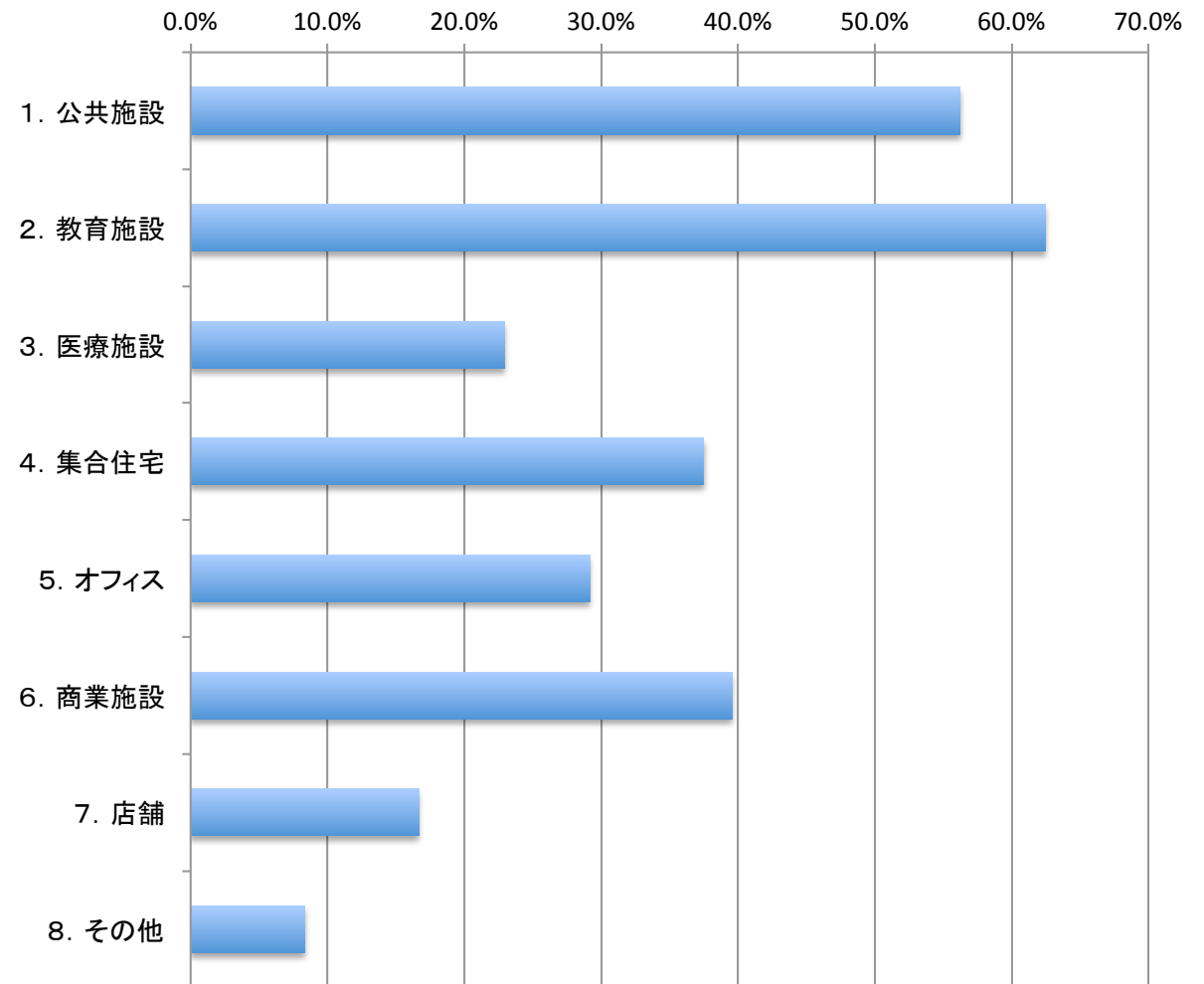


Q2. 木材を使ってみたいと思う建物はいずれですか？(3つまで回答可)

※建設、建築、建築デザイン関係者53名のうち、
Q1で「思う」と回答した方48名のみに設問

1. 公共施設 . . . 27名 (56.3%)
(自治体庁舎、社会福祉施設等)
2. 教育施設 . . . 30名 (62.3%)
(保育園、幼稚園、学校等)
3. 医療施設 . . . 11名 (22.9%)
4. 集合住宅 . . . 18名 (37.5%)
5. オフィス . . . 14名 (29.2%)
6. 商業施設 . . . 19名 (39.6%)
7. 店舗 . . . 8名 (16.7%)
8. その他 . . . 4名 (8.3%)

老人ホーム
物流倉庫
工場工房
野菜工場
温室・ビニールハウス
体育館
ゴミ置場
車庫
屋外駐車場

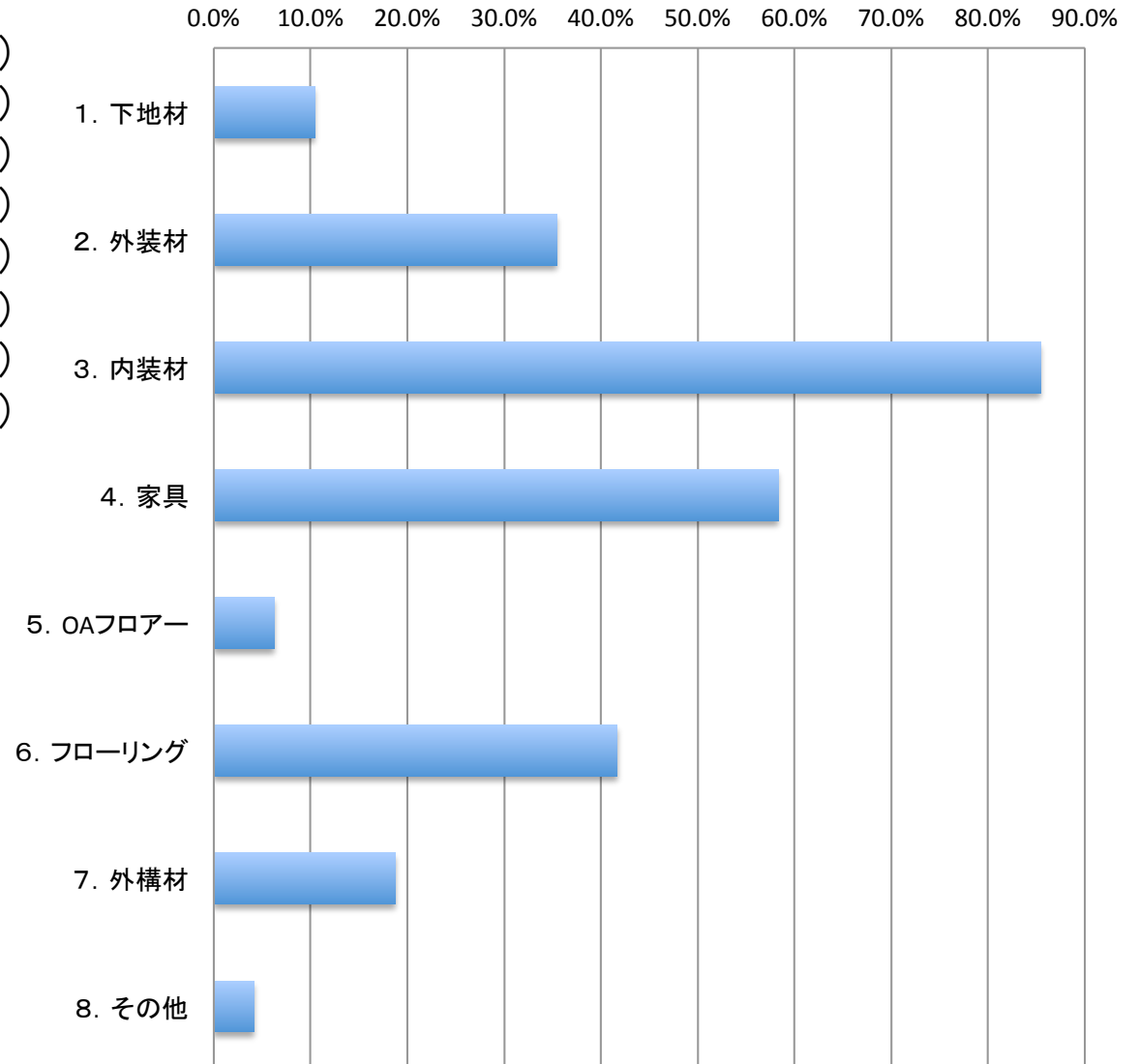


Q3. 木材は建物のどの部分に使用してみたいですか？(3つまで回答可)

※建設、建築、建築デザイン関係者53名のうち、
Q1で「思う」と回答した方48名のみ

1. 下地材	・・・	5名	(10.4%)
2. 外装材	・・・	17名	(35.4%)
3. 内装材	・・・	41名	(85.4%)
4. 家具	・・・	28名	(58.3%)
5. OAフロア	・・・	3名	(6.3%)
6. フローリング	・・・	20名	(41.7%)
7. 外構材	・・・	8名	(18.6%)
6. その他	・・・	2名	(4.2%)

構造材

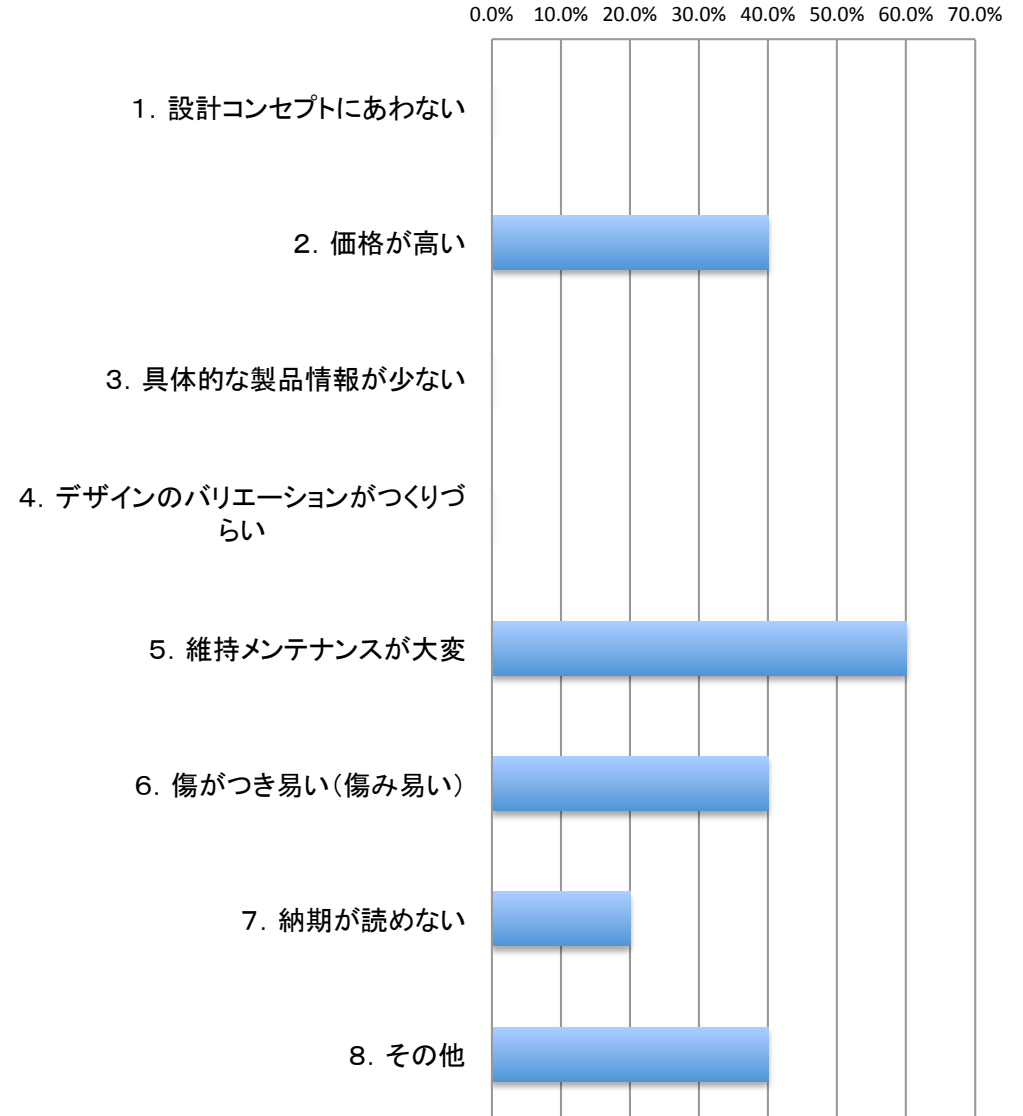


Q4. 木材を使いたくない理由は何ですか？(3つまで回答可)

※建設、建築、建築デザイン関係者52名のうち、
Q1で「思わない」と回答した方5名のみ

- | | | |
|-------------------------------|-------|------------|
| 1. 設計コンセプトにあ
わかない | ・ ・ ・ | 0名 (0.0%) |
| 2. 価格が高い | ・ ・ ・ | 2名 (40.0%) |
| 3. 具体的な製品情報が
少ない | ・ ・ ・ | 0名 (0.0%) |
| 4. デザインのバリエー
ションが作りづら
い | ・ ・ ・ | 0名 (0.0%) |
| 5. 維持メンテナンスが
大変 | ・ ・ ・ | 3名 (60.0%) |
| 6. 傷がつき易い(傷み
易い) | ・ ・ ・ | 2名 (40.0%) |
| 7. 納期が読めない | ・ ・ ・ | 1名 (20.0%) |
| 8. その他 | ・ ・ ・ | 2名 (40.0%) |

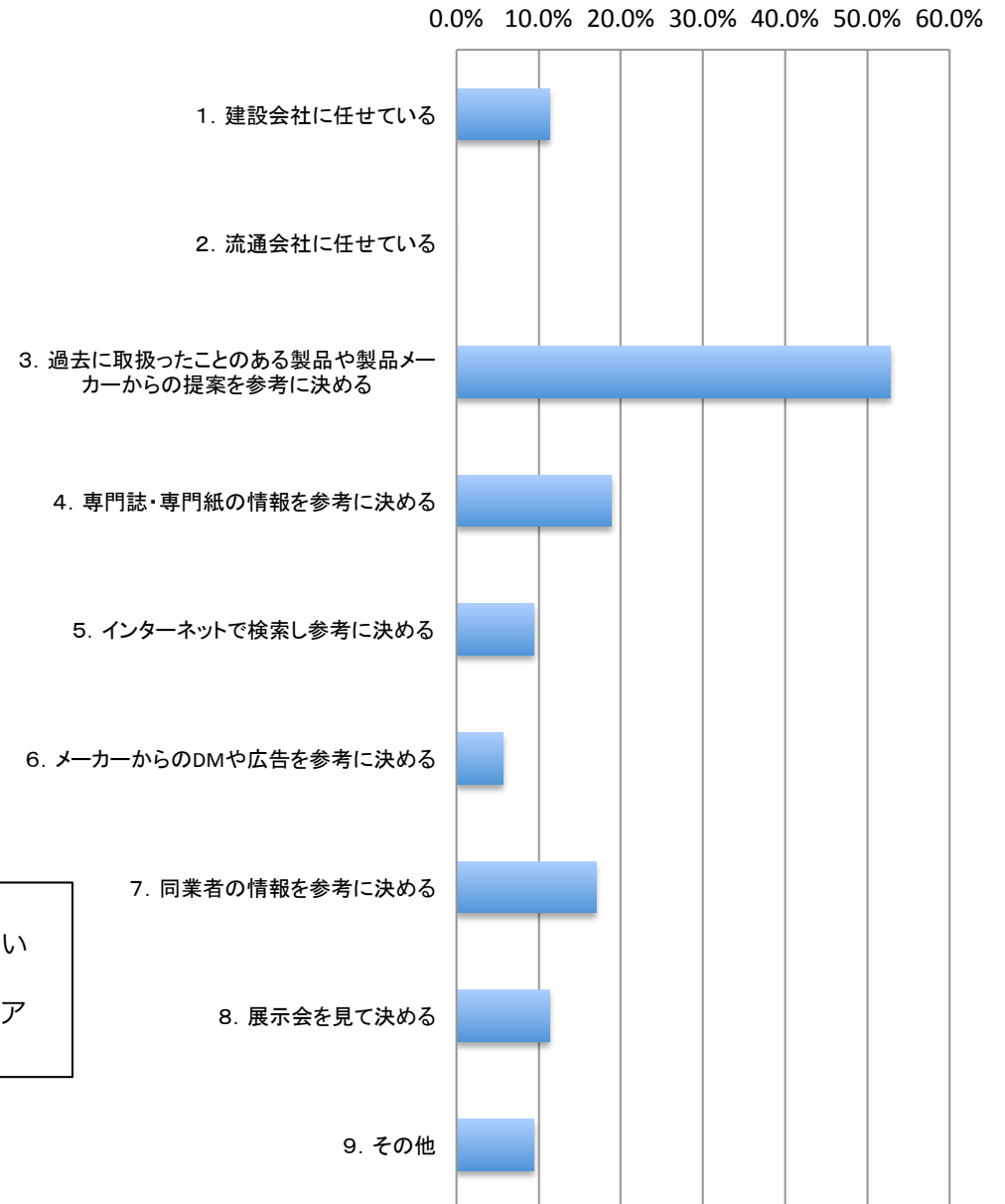
施工が難しい、反り等があるため
傷ついた場合の補修が大変



Q5. 建材の選択はどのようにおこなっていますか？

※建設、建築、建築デザイン関係者53名に設問。

1. 建設会社に任せている . . . 6名 (11.3%)
2. 流通会社に任せている . . . 0名 (0.0%)
3. 過去に取扱ったことのある
製品や製品メーカーからの
提案を参考に決める . . . 28名 (52.8%)
4. 専門誌・専門紙の情報を参
考に決める . . . 10名 (18.9%)
5. インターネットで検索し参考
に決める . . . 5名 (9.4%)
6. メーカーからのDMや広告を
参考に決める . . . 3名 (5.7%)
7. 同業者の情報を参考に決
める . . . 9名 (17.0%)
8. 展示会を見て決める . . . 6名 (11.3%)
9. その他 . . . 5名 (9.4%)



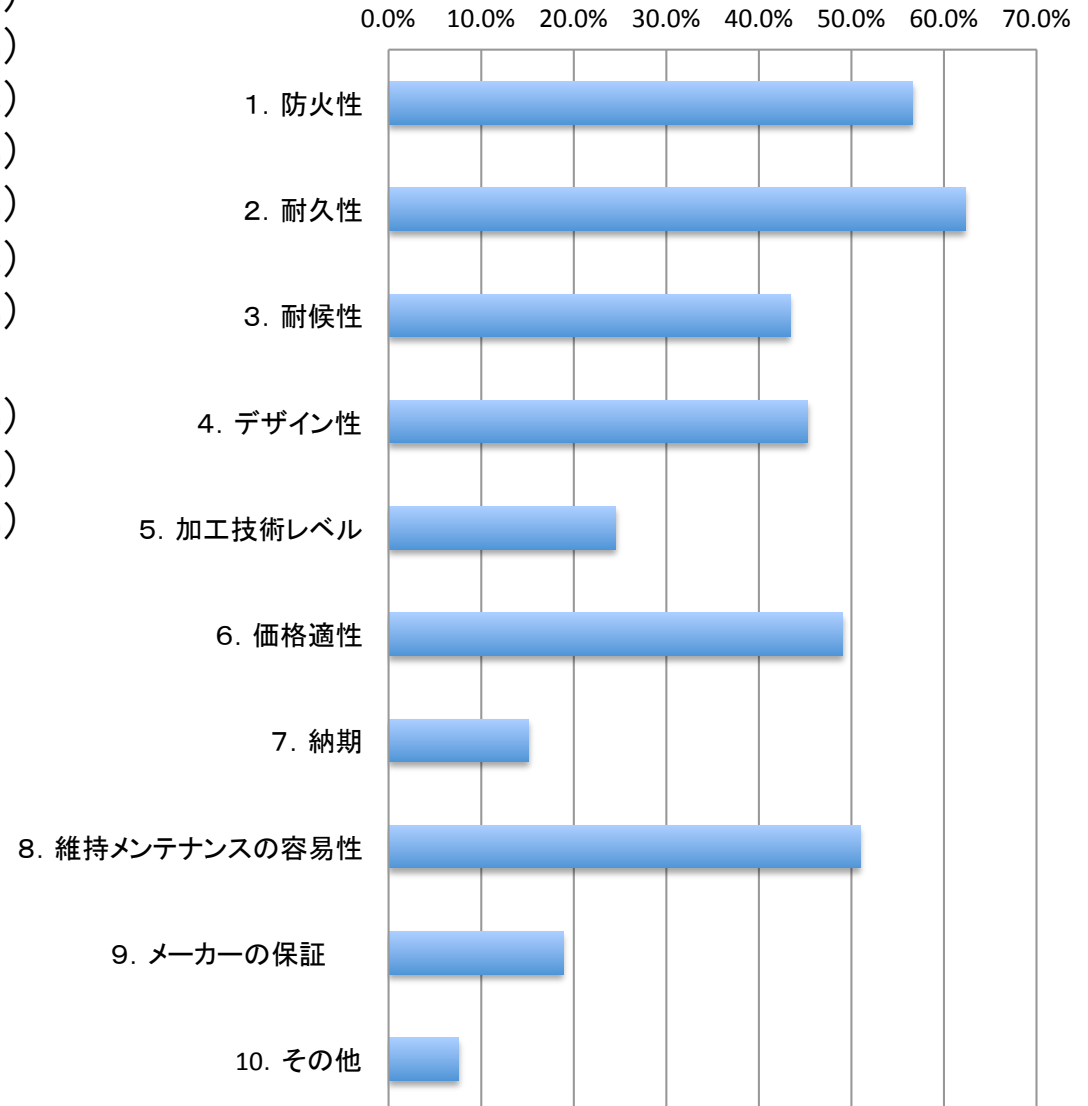
設計者からの提案をもとに、コストと性能により判断
建設の専門施工業者の為、決定権は設計事務所が握っていることが多い
設計事務所が決める事が多い
設計者の意図と、施工業者・メーカーとの意見を総合し製品をピックアップ、最終決定は設計者が行う

Q6. 木材製品に求める事はなんですか？(いくつでも)

※建設、建築、建築デザイン関係者53名に設問。

1. 防火性 . . . 30名 (56.6%)
2. 耐久性 . . . 33名 (62.3%)
3. 耐候性 . . . 23名 (43.4%)
4. デザイン性 . . . 24名 (45.3%)
5. 加工技術レベル . . . 13名 (24.5%)
6. 価格適性 . . . 26名 (49.1%)
7. 納期 . . . 8名 (15.1%)
8. 維持メンテナンスの容易性 . . . 27名 (50.9%)
9. メーカーの保証 . . . 10名 (18.9%)
10. その他 . . . 4名 (7.5%)

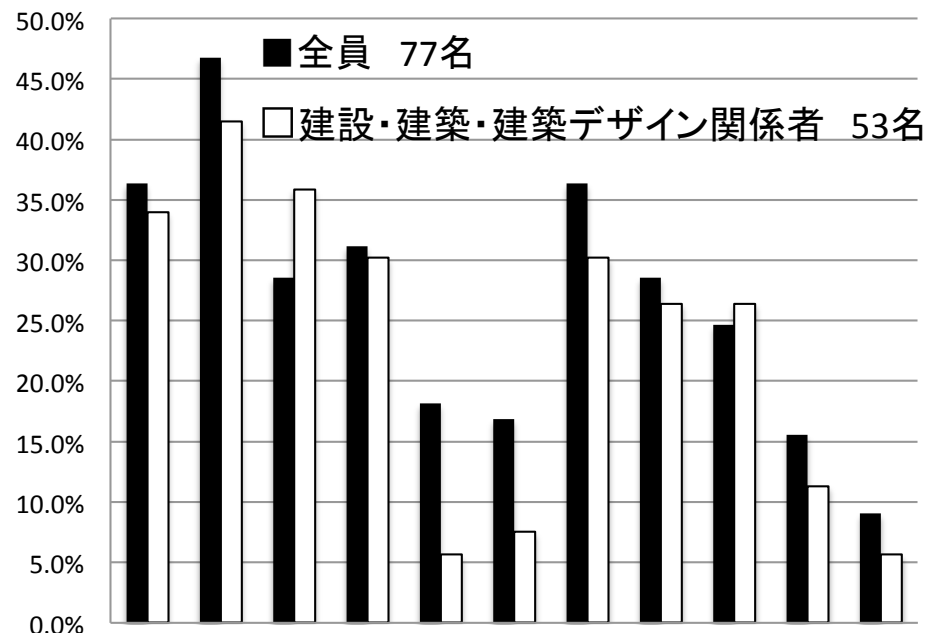
施工しやすさ
抗菌、調湿力、視覚的な暖かみ、エコ素材
木材の表情の美しさ
日本の森林保護と木材市場の活性化
寺社建築の存続への貢献



Q7. 都市部の木質化に関して、どのような講演会があれば参加してみたいですか？

※全員および、建設・建築・建築デザイン関係者53名に設問。

1. 最新の木材加工技術や木材製品に関する
 . . . 28名 (36.4%)
2. 法律や制度に関するもの . . . 36名 (46.8%)
3. 海外の先進事例など . . . 22名 (28.6%)
4. みなとモデルの最新実績など
 . . . 24名 (31.2%)
5. 林野庁・都市木質化担当者の講演
 . . . 14名 (18.2%)
6. 東京都・都市木質化担当者の講演
 . . . 13名 (16.9%)
7. 東京オリンピックに関わる木質化の講演
 . . . 28名 (36.4%)
8. 有名な建築家や都市デザイナーが語る「都市の木質化」について
 . . . 22名 (28.6%)
9. 森林伐採業者による山の事情に関する講演
 . . . 19名 (24.7%)
10. 木材流通業者による木材流通事情講演
 . . . 12名 (15.6%)
11. その他 . . . 7名 (9.1%)



防災、不燃等に関する講演
 木材認証（国内外）の実際のしくみ、取得の概略
 強靱化素材の講演会
 海外の木材を使用したデザインの紹介等
 木材を使用することによる環境貢献評価等の講演
 木質化を進める立場の側とマンションやビル等の
 大手ディベロッパーの施工する側を交えた意見交
 換（パネルディスカッション）

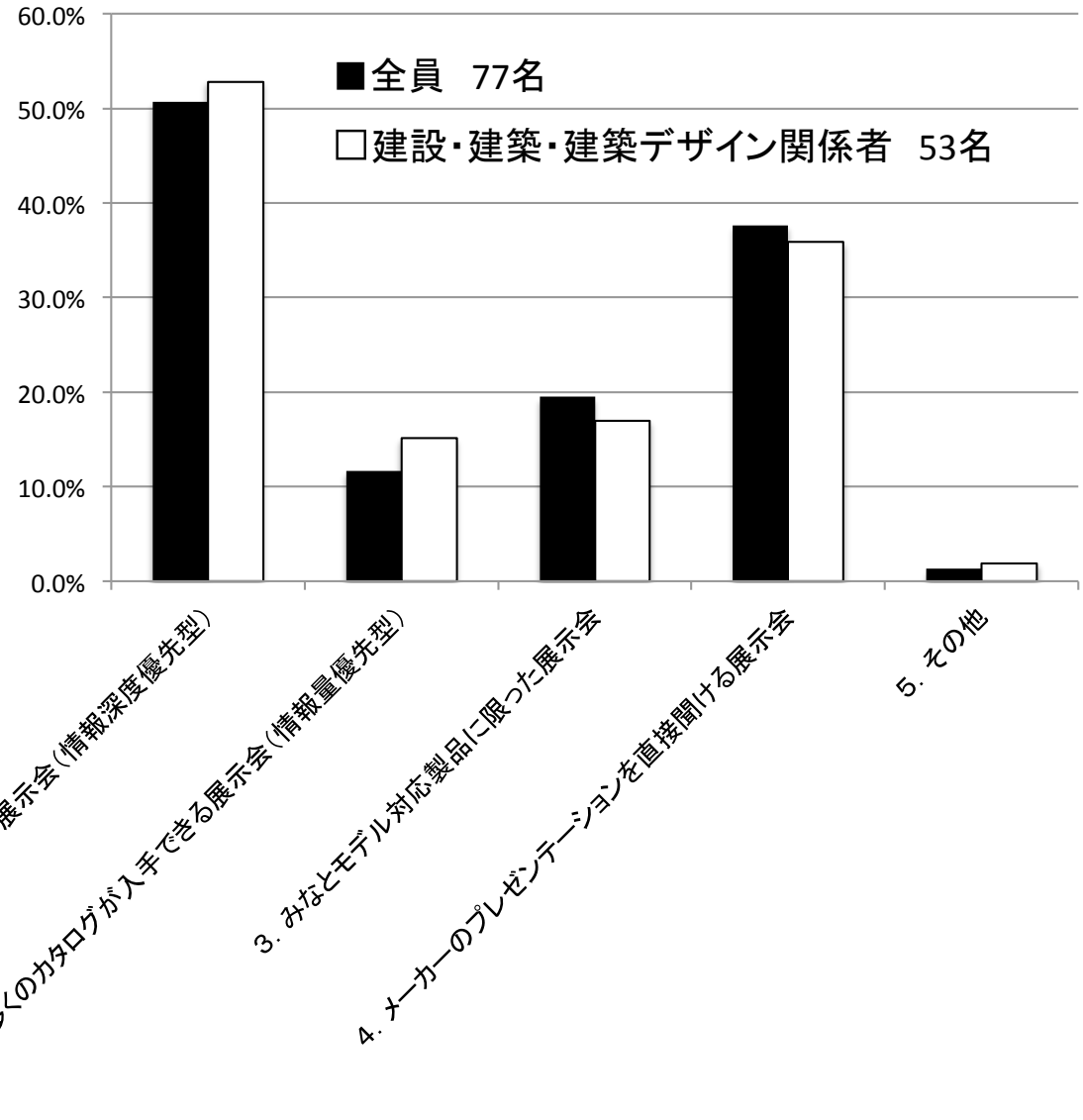
1. 最新の木材加工技術や木材製品に関するもの
2. 法律や制度に関するもの
3. 海外の先進事例など
4. みなとモデルの最新実績など
5. 林野庁・都市木質化担当者の講演
6. 東京都・都市木質化担当者の講演
7. 東京オリンピックに関わる木質化の講演
8. 有名な建築家や都市デザイナーが語る「都市の木質化」について
9. 森林伐採業者による山の事情に関する講演
10. 木材流通業者による木材流通事情講演
11. その他

Q8. 今後、どのような展示会があれば参加してみたいですか？

※全員および、建設・建築・建築デザイン関係者53名に設問。

1. 木製品に直接触れることのできる展示会
(情報深度優先型) ……39名(50.6%)
2. より多くのカタログが入手できる展示会
(情報量優先型) ……9名(11.7%)
3. みなとモデル対応製品に限った展示会
……15名(19.5%)
4. メーカーのプレゼンテーションを直接聞
ける展示会 ……29名(37.7%)
5. その他 ……1名(1.3%)

写真展でもよいが、事例が詳しく沢山紹介された展
覧会、展示など



Q9.都市建築での木材活用について、ご意見、ご感想、ご質問等があれば自由にお書きください。

(法制限に関する課題意識)

- ・法的制限をクリアーした、コストの低い製品を提供して欲しい。
- ・内装制限とそれに対応できる製品のことを知りたい。
- ・集合住宅への木材活用は難しい(メンテナンス、防火性、安全性)
- ・上流から下流(設計を含めて)まで、法的な規制をクリアーできる流れを考えて欲しい。
- ・内装制限が緩和されれば、木材活用が増える。
- ・木材を使うには耐火性能とコストが問題で、その技術開発が必要ではないか。
- ・不燃木材は白華とコストの問題で使い難い。

(みなとモデル制度認証取得メリットへの課題意識)

- ・税制の優遇等の措置があると事業者の理解が得やすい。
- ・みなとモデル制度は、認証書の交付だけでは効力が弱い。
- ・木材を活用することでボーナスが付くような制度にしないと、より創造的な木材活用は難しい。
- ・物件の事業者がインセンティブを得られるような制度的な担保が欲しい。

(制度改変への課題意識)

- ・大規模な建物には基準値を緩和して欲しい。
- ・容積対象面積で基準値を算定するのが妥当ではないか。
(駐車場、駐輪場等は除いて欲しい)
- ・建物の用途ごとに基準値を定めた方が良い。

(制度普及啓発への課題意識)

- ・5,000㎡未満の建物でも申請するよう啓発して欲しい。
- ・製品採用のない登録事業者にも発注が来るように啓蒙して欲しい。
- ・みなとモデル対応製品のカタログを作ってはどうか。
- ・メーカーから設計事務所へ製品の説明に出向いてもよい。
- ・登録事業者には、みなとモデルの登録認定書を発行して欲しい。

(体制作り・情報共有の課題意識)

- ・行政、メーカー、事業主、設計等で協力し、木材活用の環境を整えて欲しい。
- ・他自治体も木材利用を勧める制度を作って欲しい。
- ・木材活用の機会は今後増えるので、供給側の体制整備が課題である。
- ・協定木材を採用するコンセプト、プロセス、苦労話などを聞きたい。
- ・木材、木質製品を使用した施工例(使い方、コスト)を建物の使用者、設計者の目線で考えて紹介することが大切である。
- ・設計者とメーカーとの意見交換の場があるとよい。

(技術開発の課題意識)

- ・木製品の新技术が知りたい
- ・木材の強度を高めるための情報が欲しい。
- ・木材を使ったデメリットの部分で、どう解消するのか今後を期待する。
- ・木材使用の実績が上がらないのは、新建材より使い難いからだと思う。
- ・CLT(直交修正板)の使用に、技術開発等への積極的な支援をして欲しい。
- ・屋外使用目的の木材の性能アップに期待している。
- ・最新技術や補助金制度の情報が得やすくなることを期待している。

(その他)

- ・物件の申請から認証までの流れがわかるフロー図が欲しい。
- ・古い建物でも安易に壊さず、使っていく道をかんがえるべき。
- ・古材風のインテリアに使う木材はエイジング処理をし、古民家は壊さず地域の資産として再生すべき。
- ・木材を居住者の目に触れやすい所に積極的に使えると良い。

調査のまとめ

内装制限などの法規制がネックで、内装材での木質化は難しい認識がある一方で、設計関係者の内装材や家具での活用意欲は高い。

最新製品情報、海外先進事例情報、法制度情報、オリンピック情報などの「情報」を求める声が多い。

製品の情報源は製品メーカーから得る事が多い。

木材製品に求める機能は、耐久性、防火性、維持メンテナンスの容易性などの順で、木を使いたくないと回答した設計関係者が木を避ける理由と合致している。